

# テーブルトーク



佐々木良さん(36)

コロナ給付金で1人出版社を設立した

新型コロナ対策として、昨年支給された特別定額給付金、その10万円を資本金にして、昨年8月、1人の出版社「万葉社」を高松市に立ち上げた。「文化を発信できて、ゆくゆくは収益からの納税で『お返し』もできる。我ながら、ええこと思いついたわ、と」

京都精華大学で絵巻を学んだ後、瀬戸内海に浮かぶ豊島(香川県土庄町)に、豊島美術館を立ち上げるスタッフとして移り住んだ。2018年、その経験を「美術館ができるまで」という本にまとめたが、地元の文化を知らない東京の編集者とのやり取りにまどろこしさも感じたという。「だったら、自分で出版社をつくってしまえばいいわ」

今年に入って、元号「令和」の典拠を書で表現した「令和万葉集」を、1冊目の本として出版した。学芸員として経験を積んだ経験から、ブックデザインも自らこなす。

瀬戸内国際芸術祭が注目を集め、移住者も増えつつある瀬戸内海の島々。「若い書き手を発掘して、香川や瀬戸内の魅力を全国に伝えていきたい」 (上原佳久)

2021年(令和3年)

7月29日  
木曜日 夕刊

スポーツ	6.7
環境	5
NEWS+α	9
円・株	10
社会・総合	10
社会	11
TV・ラジオ	9.12

朝日新聞大阪本社  
〒530-8211 大阪市北区中之島 2-3-18  
電話 06-6231-0131 www.asahi.com



令和3年7月29日  
朝日新聞 夕刊2面で掲載していただきました。  
ありがとうございます。